

	学校周辺の写真	特色ある取組、実践等の紹介、研究会予定、URL 等
猿 払 村		<p>モダンなデザインの校舎、玄関ホールの掲示物には、アンネのバラ、百人一首など、へき地・複式の価値ある教育実践が語り継がれています。夏は一輪車に取り組み、運動会で披露します。冬は「王子の森」でのクロスカントリースキーで体力づくりに取り組んでいます。地域の人的・物的資源を活用しながら、持続可能な教育活動を進めています。全校児童は 8 名ですが、一人一人にきめ細かな指導を展開する中で、教師が知識や解決策を提示するのではなく、子どもがもつ知識や発見を大切にして、問いかけの中から、解決策を見だし、自力解決できる授業を展開しています。ICTを活用した学校間交流を授業に導入しながら、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な実践を進めています。<a href="https://asi-sarufutsu.edumap.jp/">https://asi-sarufutsu.edumap.jp/</a></p>
		<p>校区である浜鬼志別地区は、水揚げ量全国一を誇る天然ほたて貝漁の中心地であり、道の駅やキャンプ場、ホテルが置かれる「さるふつ公園」があり、村の観光・交流の拠点となっている。本校の児童数は、昭和30年代は100名を超えていたが（昭和33年 138名）、その後は減少を続け、今年度は28名である。今年度は3・4年学級、5・6年学級が複式となっている。</p> <p>保護者の多く（9割以上）は水産関係に従事しており、経済的に安定している家庭が多い。児童の多くがスポーツ少年団活動、ピアノやダンス、書道などの習い事をしている。保護者は学校の教育活動に対して、おおむね協力的であり、PTA活動も活発である。一方、生活スタイルの変化や価値観の多様化などから、学校教育に対する要求も多様化してきている。<a href="https://hamaonishibetsususho.edumap.jp">https://hamaonishibetsususho.edumap.jp</a></p>
		<p>猿払村の北の端に位置し、村内では1番古く創立118年目を迎えます。地域は、ほたて漁と酪農が栄え児童数は最大208名（昭和20年）から減少していますが、漁師を引き継ぎ世帯を持つ若者が増えており、現在児童数23名となっています。学校に対する地域の関心、保護者の協力も高く、地域の方を招いての学習をはじめ、新型コロナウイルス感染症予防の休校中には、動画授業をいち早く取り入れました。教育活動や児童の様子は、学校ホームページ「学校ブログ」で逐一、情報発信を行っています。</p> <p>今年度は重点目標『「気づき」を「えがお」に』のもと、子どもたち自身の気づき、我々教職員の気づきや児童に気づかせることを通じて、笑顔あふれる学校へと繋げていきたいと考えております。 <a href="https://cbes-sarufutsu.edumap.jp">https://cbes-sarufutsu.edumap.jp</a></p>

枝幸町	目梨泊小学校	 <p>枝幸町の一番北にある目梨泊小学校は、2018年に金の刀が発掘された目梨泊遺跡の近くに校舎を構える小学校です。児童5名、教職員5名の小規模校です。地域は目梨泊漁港を中心に約40世帯あり、多くの方が漁業に従事しています。住民や保護者は、教育への関心が高く学校に対し協力的です。</p> <p>今年度の重点目標は、【知 徳 体】「よく考え、表現する 子ども」「互いに思いやり、助け合う 子ども」「安全を考え 行動する 子ども」です。帯タイムでは体力向上を目指し、一輪車、マラソン、なわとびの練習と漢字力向上のため漢字検定の取り組みを行っています。 <a href="https://menashidomari-sho.edumap.jp">https://menashidomari-sho.edumap.jp</a></p>
	岡島小学校	 <p>本校は明治32年に開設し、126年の歴史を刻んでいます。小中併置校であった時期や、100名を超える在籍を数えたこともあります。現在は児童数8名の小規模校となっています。校舎周辺は自然環境に恵まれ、学校林の中を体力づくりで走るマラソンコースも設置されています。この環境を生かした取組により、体力づくりで北海道教育委員会より3度の表彰を受けています。</p> <p>特色ある教育活動として、サケの燻製づくり、一輪車の取組、学校周辺や砂浜の清掃活動、学校農園活動、そして校舎前にはプランターで色とりどりの花苗を育てています。現在「岡小ドリル」「岡小テスト」を通じて家庭と連携し児童の学力向上を図っています。</p>
	山臼小学校	 <p>本校の創立は、「物的財産は消えるが、教育こそ生命と共に持ち続け得る唯一の財産である」との考えから、地域住民・父母の熱意と労力奉仕によって、昭和23年に開設されました。平成30年10月には校舎全面の耐震化工事が完了、現在に至っています。（令和7年度 児童数10名）</p> <p>山臼小学校では、子どもたちが社会に出て働くであろう10年後を見据え、未来を切り開いていくための資質・能力の育成を目指し、山臼小学校ならではの教育課程を社会と共有しながら、小規模校の特色である児童一人一人の良さを最大限に伸ばす「個に応じた教育」を推進しています。</p>
	風烈布小学校	 <p>風烈布小学校は「地元で学校を」との地域住民の熱心な設置運動により、1925年3月 音標尋常小学校 風烈布特別教授場として開校しました。昭和の終わりには30名を超えていた児童数も平成になって年々減少し、現在は児童数10名、教職員5名の極小規模校です。学校が地域コミュニティの拠点であると押さえ、長きにわたり地域と学校が連携・協働して地域全体で子どもたちの成長を支えています。</p> <p>1976年に子どもたちの健やかな成長を願って発足された「風烈布子ども育成会」から多大なるご協力をいただき、様々な体験活動を通して豊かな心を育てています。教職員一丸となって、子どもたちのために一層充実した教育活動を推進してまいります。 <a href="https://esashityouritufuureppusyougakkou.edumap.jp/">https://esashityouritufuureppusyougakkou.edumap.jp/</a></p>

音標小学校		<p>本校は、1900年に寺子屋として開設され、昭和40年代には100名を超える児童数でしたが、子供の数は年々減り続け、一時は一桁まで減少しました。近年少しずつ児童数が増加し、令和3年度に乙忠部小学校との統合により、現在は児童数29名です。各学年とも複数の児童が在籍し、学びの過程を重視した協同的な学びによる教育課程を推進しています。</p> <p>本校の特色ある教育活動として、酪農や漁業が豊かな地域ならではの体験学習を中心に、ゲストティーチャーを招き、産業や自然環境について探求的に学ぶ時間を多く設定しています。また、枝幸町南3小学校による集合学習を行い、より大きな集団の中で学び合う機会の充実を図っています。</p> <p><a href="https://otoshibe.edumap.jp">https://otoshibe.edumap.jp</a></p>
歌登小学校		<p>本校は、1901年（明治34年）6月24日、上幌別簡易教育所として認定された。1908年（明治41年）、移住者の増加に伴い児童数も増え、現在地に校舎を建築。2000年（平成12年）には、開校百周年を迎えた。2006年（平成18年）歌登町が枝幸町と合併し、新「枝幸町」となったため、校名も「枝幸町立歌登小学校」へと改名した。2024年（令和6年）完全複式となり、2025年（令和7年）現在、全校児童28名。教師は授業力向上を目指し、授業UDについて校内研究を推進している。</p> <p>自然豊かな歌登では、酪農が盛んで、明るく素直な児童が学んでいる。学校教育目標は「すたあ☆」子どもたちも教職員も一人一人がかかやく学校を目指す。10月31日宗谷管内教育研究大会枝幸大会での学校公開が予定されている。<a href="https://utanobori-elementary-school.edumap.jp/">https://utanobori-elementary-school.edumap.jp/</a></p>
幌延町 問寒別小学校		<p>明治43年7月8日に開校し、115年目を迎える問寒別小中学校は児童9名、生徒3名、教職員11名の小中併置校です。幌延市街地から南東へ直線で約20km離れた、自然豊かな酪農地帯に本校が在ります。小規模校ならではの利点を生かしたきめ細かな学習・生活指導、小中一貫した様々な取組、ワラベンチャー問寒クラブ主催の自然体験活動など地域と連携した行事など、地域とともにある教育活動を展開しています。</p> <p>また、幌延町TV会議システムを活用し、幌延小学校や幌延中学校との遠隔授業や合同授業など、集団性を高めるべく、小中連携も進めています。<a href="https://www.town.horonobe.lg.jp/www4/toikanbetsu/">https://www.town.horonobe.lg.jp/www4/toikanbetsu/</a></p>

礼文町	香深井小学校		<p>本校は、明治27年に設置許可された130年以上の歴史と伝統を有する学校です。開校以来、地域・保護者・教職員・町理事者など多くの人たちの支援と協力・協働により、地域の学校として大きく発展しました。児童は体験と課題解決を重視した総合的な学習の時間や特別活動を教科の横断的な視点をもって体験しています。また、ICTを活用した教育活動も行い、一人一人に合った学習も行っています。特色ある教育活動は、保育所から高校までの礼文型教育連携が進められ、学力面で自信とやる気を育てる「礼文検定」と、ふるさと礼文に自信と誇りが持てる「礼文学」の実践研究を町と連携し追究しています。</p> <p><a href="https://rebuntyouritukahukaisyougakkou.edumap.jp/">https://rebuntyouritukahukaisyougakkou.edumap.jp/</a></p>
利尻町	仙室志小学校		<p>本校は、明治26年利尻尋常小学校仙法志分校として創立し、以来134年の歴史を重ねています。昭和30年代までは300名を超える児童が在籍しましたが、昭和40年代以降は過疎化、高齢化の影響で児童数が減少し、今後も児童数は10名前後で推移していく見通しです。平成29年度に「ICT活用教育促進事業」実践指定校となり、児童一人一台タブレットを初め、進んだICT環境を生かした教育活動を進めています。今年度も、ICTを活用した個別最適な学習、異年齢集団による教え合い・学び合い学習等、少人数の強みを生かした教育活動を進め、児童一人ひとりの確かな資質・能力の育成を図っています。</p> <p><a href="https://senhoushisho.edumap.jp">https://senhoushisho.edumap.jp</a></p>
利尻富士町	利尻小学校		<p>本校は、明治19年に開校し、今年で140周年目を迎えます。管内最古の教育発祥の地として、伝統ある学校です。また、小中併置校として、利尻小学校・鬼脇中学校は、9年間の連続した小中一貫教育を推進しています。中学校教諭による乗り入れ授業（算数・理科・社会・外国語・音楽）、小中合同の運動会・文化祭・校内研修などに取り組んでいます。子どもたちが身に付けなければならない資質・能力（論理的思考力）を的確に把握しながら、授業改革や様々な教育活動に取り組んでいます。AIアプリ「Qubena」も活用して、指導の個別化や学習の個性化へとつなげています。また、地域行事をリスペクトしてきたので、学校は、地域から絶大なる信頼があります。</p> <p><a href="https://rishirifuji-town-rishiri-e-oniwaki-jh.edumap.jp/">https://rishirifuji-town-rishiri-e-oniwaki-jh.edumap.jp/</a></p>

	声問小学校		<p>創立133年の声問小学校は、右手に日本最北端の宗谷岬、左手に稚内市街地を裾野としたノシャップ岬のほぼ中央に位置し、古くから酪農や漁業が基幹産業となっていました。近郊には北海道立宗谷ふれあい公園など観光施設もあり、毎年、多くの方がこの地に訪れています。また、北海道稚内養護学校や老人医療福祉施設なども集中し、文教・福祉の地域として発展しています。</p> <p>本校においても地域の関係機関と協力しながら「声問地区ノーマライゼーション」に参加し、地域一帯となった福祉教育活動を推進しています。令和3年度から「SDGs」教育に取り組み、声問から様々な発信を行っています。 <a href="http://wakkanai-koetoi-e.edumap.jp/">http://wakkanai-koetoi-e.edumap.jp/</a></p>
稚内市	天北小学校		<p>本校は平成14年に、小学校7校、中学校5校の12校を広域統廃合して新設された小中併置校である。校区は南北に20km、東西に10kmと広大で、校名はこれらの地域が「旧国鉄天北線」の沿線であったことに由来すると思われる。今年度は開校24周年を迎える。</p> <p>小中併置校の特性を生かした「縦割り班活動」に力を入れ、「天北太鼓」や「天北ソーラン」など小中合同で取り組んでいる。また、学校の様子や地域の実態を交流し合う「地区懇談会」も各地区で開催されるなど、地域や保護者とのつながりも強い。</p> <p>URL <a href="http://wakkanai-tenpokuschool.edumap.jp">http://wakkanai-tenpokuschool.edumap.jp</a></p>
	宗谷小学校		<p>全校児童17名の本校は、宗谷の海と利尻富士が一望できる絶景が広がり、裏山には観光スポット「白い道」が続く自然豊かな場所にある。玄関は全校児童・保護者・教職員で作成した「ステンドグラス」が色鮮やかに飾られ、正面の大水槽「宗谷小水族館」は、保護者（漁師）から運び込まれたホタテやカレイ等数種の魚や貝類が泳ぎ回り、皆の目を楽しませている。総合的な学習では、学校前の海で「磯遊び」をし、採捕した魚を使って学習発表を行っている。全校の合計した読書冊数で、子供たちを乗せた船「なぎさ丸3号」を世界へと進めており、船はロスアンゼルスを超えバンクーバーに向けて航行中である。体力づくりも盛んで、知・徳・体のバランスの取れた子供の成長を目指している。 <a href="https://nagisanoko-e.edumap.jp">https://nagisanoko-e.edumap.jp</a></p>

大岬小学校		<p>大岬小学校は、明治27年に開校し（132周年）、日本最北端に位置する歴史と伝統のある学校です。へき地3級、今年度から全ての学年での複式学級が解消され、単学級となりました。特別支援学級が2学級となり、全校8学級で児童数57名、教職員数13名の学校です。宗谷岬の強い風にも負けず、毎日、学びも遊びも全力で取り組んでいます。</p> <p>57名の児童が学ぶ大岬小学校、みんなで学び、みんなで育つ、日本一仲のよい学校を目指して、日々の教育活動に取り組んでいます。 <a href="https://oomisaki-e.edumap.jp">https://oomisaki-e.edumap.jp</a></p>
富磯小学校		<p>富磯小学校は1900年に宗谷南尋常小学校として認可を受けて開校、現校舎は平成23年1月に新築されました。今年度の児童数は14名。整った環境の中で、子どもたちはいきいきと毎日の学習や諸活動に取り組んでいます。本校では、1988年より行っているサケの稚魚放流、2000年より行っている沖縄県石垣市立明石小学校との交流活動など、特色のある教育活動を行っています。</p> <p>今年度の重点、『一人一人が自ら「向上心をもって主体的」に学びに向かい、自分や周りを見つめるなかで、仲間を大切に活動する子』の育成を目指し、学校・保護者・地域が連携しながら、日々の教育活動の充実に努めていきます。</p> <p><a href="https://wakkanai-tomiiso-e.edumap.jp/">https://wakkanai-tomiiso-e.edumap.jp/</a></p>
豊富町 兜沼小学校		<p>本校は、明治41年創設、小学校開校118年、中学校開校78年を迎える、児童生徒14名（小学生12名、中学生2名）教職員11名の小中併置校です。地域には兜の形をした「兜沼」があり、春には白鳥や雁など渡り鳥が数多く飛来、牧草場が広がる自然豊かな酪農地帯に位置します。地域住民や保護者は、教育への関心が高く協力的で、運動会、夏祭り、文化祭は地域を挙げて取り組みます。また、令和元年度より小規模特認校の指定を受け、広く児童生徒を受け入れ、「少人数だからこそできる、個別最適な学びの実現」を目指して教育活動に取り組んでいます。</p> <p><a href="https://toyotomi.schoolweb.ne.jp/O110002">https://toyotomi.schoolweb.ne.jp/O110002</a></p>